

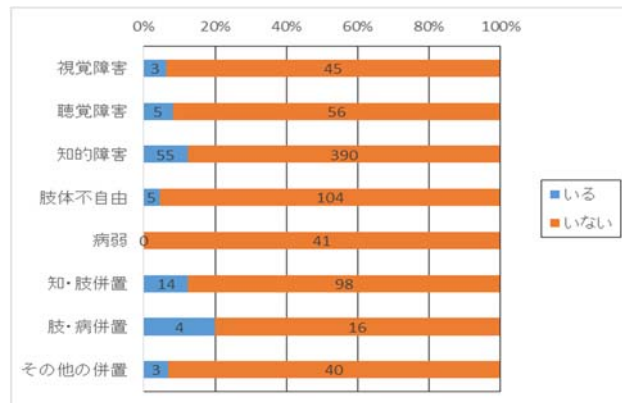
# 報告 5 進路福祉

はじめに

就職や就職にかかわる機関に関する調査を行い、それらとの連携についての分析を行った

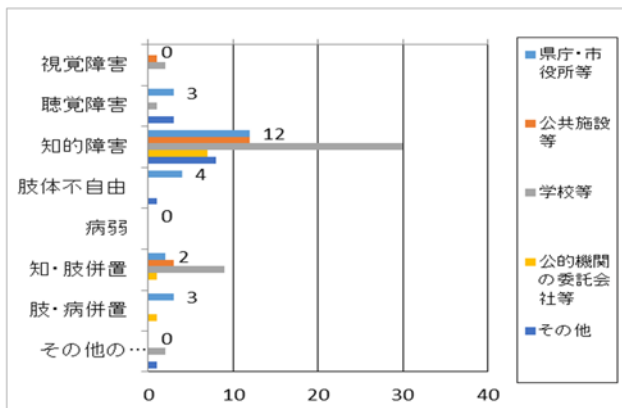
【69】平成26年度中に公的機関に就職（福祉就労は除く）した生徒はいますか。《単一選択》

	いる	いない
視覚障害	3	45
聴覚障害	5	56
知的障害	55	390
肢体不自由	5	104
病弱	0	41
知・肢併置	14	98
肢・病併置	4	16
その他の併置	3	40



【70】就職した公的機関はどこですか。《複数選択可》

	県庁・市役所等	公共施設等	学校等	公的機関の委託会社等	その他
視覚障害	0	1	2	0	0
聴覚障害	3	0	1	0	3
知的障害	12	12	30	7	8
肢体不自由	4	0	0	0	1
病弱	0	0	0	0	0
知・肢併置	2	3	9	1	0
肢・病併置	3	0	0	1	0
その他の併置	0	0	2	0	1



## ■その他内容

【聴覚障害】

公共職業安定所 印刷局

【知的障害】

公共職業安定所 ハローワーク

市立病院 企業就労 大学 自衛隊

【知・肢併置】

一般財団法人介護老人施設

【肢体不自由】

介護老人保健施設

【その他の併置】

自衛隊

【71】就職先での仕事内容をお答えください。

《複数選択可》

	事務・事務補助等	清掃・環境整備等	調理・調理補助等	農業関連業務	その他
視覚障害	3	1	0	0	2
聴覚障害	6	0	0	1	4
知的障害	39	68	26	16	13
肢体不自由	5	2	0	0	0
病弱	0	0	0	0	0
知・肢併置	10	11	5	2	5
肢・病併置	4	0	0	0	0
その他の併置	1	3	1	2	3

■その他内容

【視覚障害】

あんま、鍼灸、きゅう師

【聴覚障害】

自動車部品製造、機械等製造業

【知的障害】

小売バックヤード、物流

物品補充等 臨時学校業務員

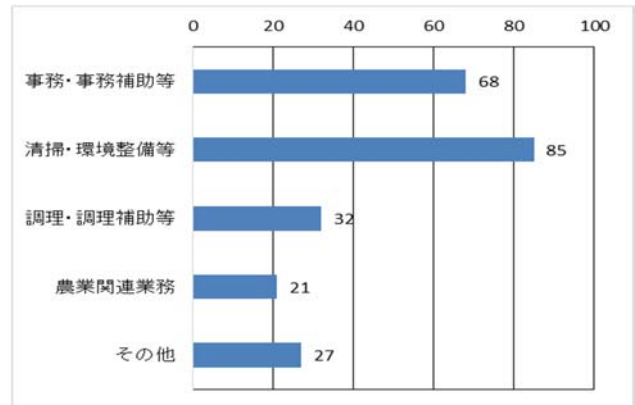
自動車部品加工・リネン・書店

製造業 水産業 物流

保育補助 食品加工、クリーニング

ロジスティック スーパーマーケット

製造補助 販売補助 自衛隊業務



【病弱】

ドラッグストアの商品の棚出し

【知・肢併置】

物品補充等

運送業 製造業

図書館書籍陳列

建設、和菓子製造、食品加工、古着リサイクル

【その他の併置】

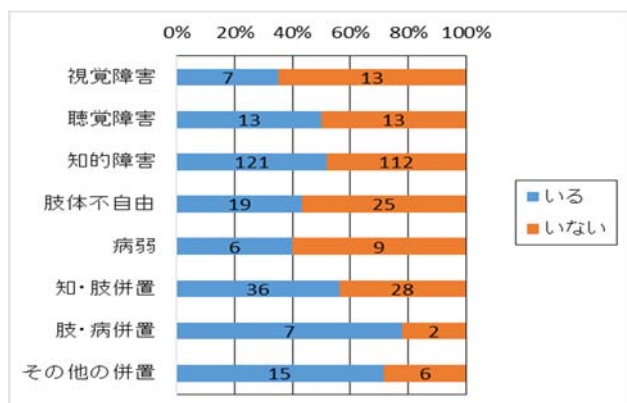
保安業務

公務補

製造・販売サービス

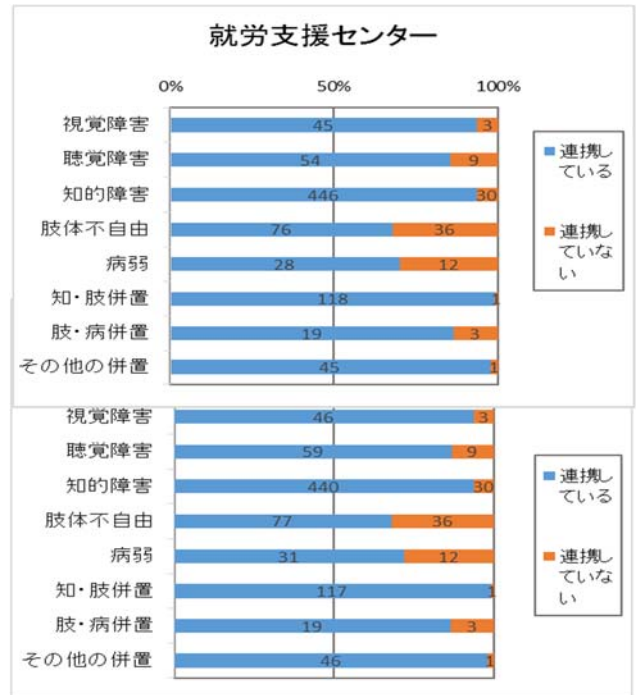
【72】公的機関で実習を行っていますか。《単一選択》

	いる	いない
視覚障害	7	13
聴覚障害	13	13
知的障害	121	112
肢体不自由	19	25
病弱	6	9
知・肢併置	36	28
肢・病併置	7	2
その他の併置	15	6



【73】 就労支援センターやハローワークと連携していますか。《単一選択》

	就労支援センター		ハローワーク	
	連携している	連携していない	連携している	連携していない
視覚障害	45	3	46	3
聴覚障害	54	9	59	9
知的障害	446	30	440	30
肢体不自由	76	36	77	36
病弱	28	12	31	12
知・肢併置	118	1	117	1
肢・病併置	19	3	19	3
その他の併置	45	1	46	1



【74】 就労支援センター、ハローワークとの連携内容をお答えください。《複数選択可》

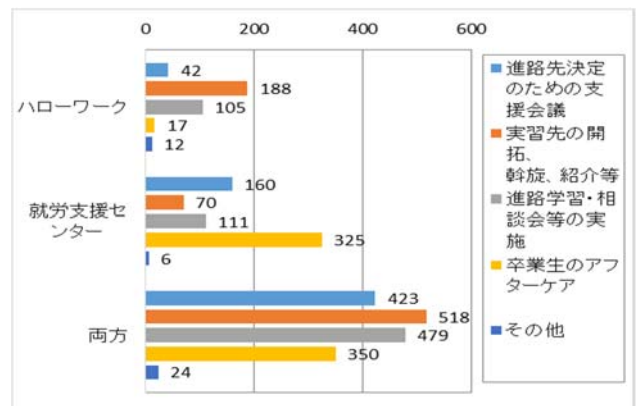
■ 就労支援センター

	進路先決定のための支援会議	実習先の開拓、斡旋、紹介等	進路学習・相談会等の実施	卒業生のアフターケア	その他
視覚障害	11	6	7	12	0
聴覚障害	11	9	5	18	0
知的障害	82	27	64	190	2
肢体不自由	22	14	12	22	2
病弱	5	1	2	10	0
知・肢併置	19	9	16	48	2
肢・病併置	4	3	2	8	0
その他の併置	6	1	3	17	0

■ ハローワーク

	進路先決定のための支援会議	実習先の開拓、斡旋、紹介等	進路学習・相談会等の実施	卒業生のアフターケア	その他
視覚障害	5	9	6	4	1
聴覚障害	3	12	17	4	0
知的障害	19	104	51	4	7
肢体不自由	5	18	9	0	2
病弱	0	11	4	0	0
知・肢併置	5	20	11	3	0
肢・病併置	0	4	1	0	0
その他の併置	5	10	6	2	2

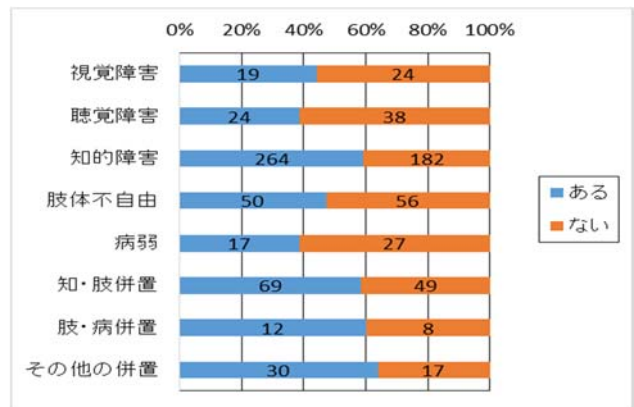
就労支援センターとの連携では、「卒業後のアフターケア」を目的とすることが多く、ハローワークは「実習先の開拓、斡旋、紹介」といった実際に就職する目的が多い。用途に応じて使い分けが行われている。



【75】 就労支援センター、ハローワーク等以外に企業就労先の開拓を支援する機関等がありますか。

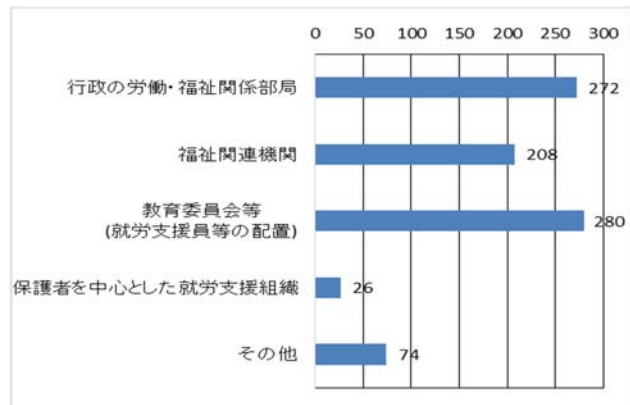
《単一選択》

	ある	ない
視覚障害	19	24
聴覚障害	24	38
知的障害	264	182
肢体不自由	50	56
病弱	17	27
知・肢併置	69	49
肢・病併置	12	8
その他の併置	30	17



【76】 企業就労先の開拓を支援している機関をお答えください。《複数選択可》

	県庁・市役所等	公共施設等	学校等	公的機関の委託会社等	その他
視覚障害	0	1	2	0	0
聴覚障害	3	0	1	0	3
知的障害	12	12	30	7	8
肢体不自由	4	0	0	0	1
病弱	0	0	0	0	0
知・肢併置	2	3	9	1	0
肢・病併置	3	0	0	1	0
その他の併置	0	0	2	0	1



■ その他内容

【視覚障害】

卒業生、卒業生の就職先  
特別支援学校進路指導部会  
卒業生（同窓生）の紹介

【聴覚障害】

企業関係者  
千葉県特別支援学校就労支援ネットワーク  
学校と企業が連携した機関  
企業の関連機関

【知的障害】

人材雇用開発人権センター  
児童相談所  
障害者職業センター

中小企業同友会

企業や福祉関係機関等による就労支援組織  
一般財団法人 人材雇用開発人権センター  
発達教育センター  
地域の職親会  
県産業部委託事業  
特別支援学校間  
学校独自現場実習サポーター  
特例子会社  
進路対策研究部会  
経済同友会

教育委員会の委託した外部機関

県立大分高等技術専門校の障がい者職業訓練アドバイザー

県立高等技術専門校  
地区障害者就労支援連絡会  
県委託の就労支援コーディネーター  
ジョブマッチネットワーク長崎  
県立高等養護学校からの情報  
商工会議所・ロータリークラブ等  
NPO法人オールしずおかベストコミュニティ  
県中小企業同友会  
一般企業 地区就労支援連絡会  
教員の職場開拓 市の商工振興課  
教員からの情報 NPO 法人  
学校進路後援会 埼玉中小企業同友会  
中小企業家同好会  
人材雇用開発人権センター（C－STEP） 商  
工会等  
企業が登録する任意団体「現場実習を支援する会」  
地区障害者雇用連絡協議会  
自立支援協議会 商工会議所  
京都市すだちのネットワーク 職業センター  
障がい者就労・生活支援センター 企業団体  
学校独自の企業等との根とワーク連携会議  
職親会  
就職マッチングをしてくれる社団法人  
NPO法人障害者雇用部会、中小企業同好会

**【肢体不自由】**

障害者就労支援連絡会  
市区の福祉課

**【病弱】**

地域の障害者就労支援連絡会

**【知・肢併置】**

ハローワーク

**【77】** 福祉就労先の不足により、進路が決まらないことがありますか。（在宅等）《単一選択》

県進路部長会議、合同説明会  
県特別支援学校進路研究会  
地域の障害者就労連絡会  
企業からの情報  
出雲青年会議所  
市民講師、企業同士の紹介など  
県社会福祉協議会  
法人会、商工会  
企業との連携協議会  
中小企業家同友会

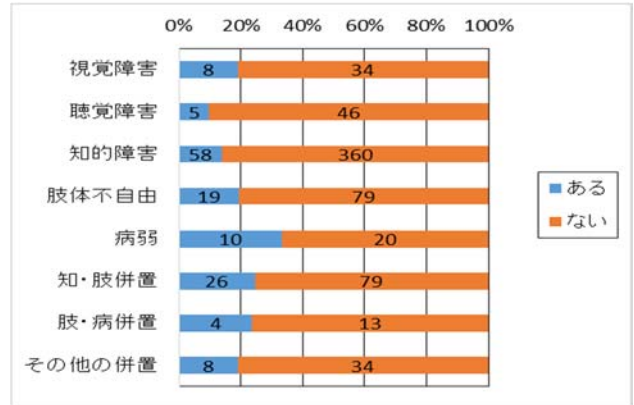
**【肢・病併置】**

中小企業者同友会  
Cステップ

**【その他の併置】**

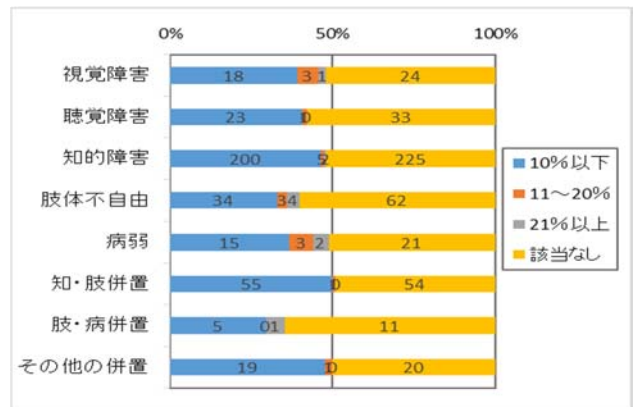
自立支援協議会就労支援部会

	ある	ない
視覚障害	8	34
聴覚障害	5	46
知的障害	58	360
肢体不自由	19	79
病弱	10	20
知・肢併置	26	79
肢・病併置	4	13
その他の併置	8	34



【78】進路が決まらない生徒の割合をお答えください。《単一選択》

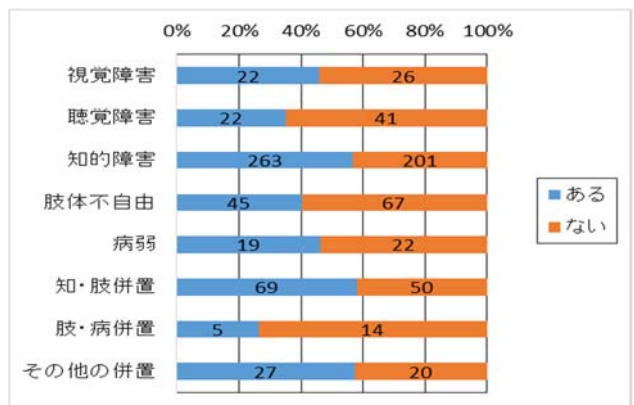
	10%以下	11～20%	21%以上	該当なし
視覚障害	18	3	1	24
聴覚障害	23	1	0	33
知的障害	200	5	2	225
肢体不自由	34	3	4	62
病弱	15	3	2	21
知・肢併置	55	1	0	54
肢・病併置	5	0	1	11
その他の併置	19	1	0	20



就職を支援する施設との連携が行われていることもあり、進路が決まらない生徒の割合は「10%以下」という回答が多かった。

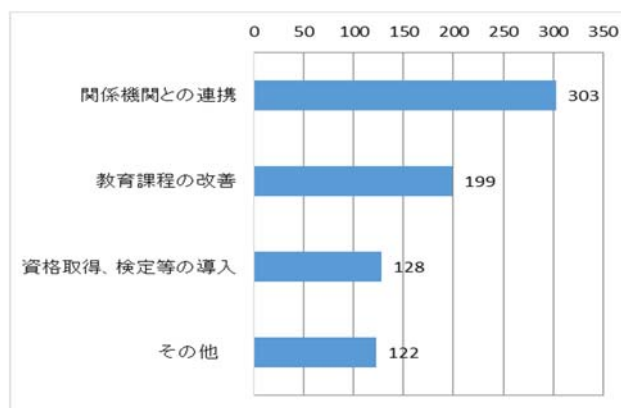
【79】平成26年度及び27年度において、就労促進のため学校として新規に導入又は改善した事項はありますか。《単一選択》

	ある	ない
視覚障害	22	26
聴覚障害	22	41
知的障害	263	201
肢体不自由	45	67
病弱	19	22
知・肢併置	69	50
肢・病併置	5	14
その他の併置	27	20



【80】「ある」の場合、その内容をお答えください。《複数選択可》

	関係機関との連携	教育課程の改善	資格取得、検定等の導入	その他
視覚障害	16	4	5	7
聴覚障害	13	8	4	7
知的障害	166	129	71	66
肢体不自由	35	14	8	9
病弱	15	7	5	2
知・肢併置	40	24	27	21
肢・病併置	4	1	1	2
その他の併置	14	12	7	8



### ■その他内容

#### 【視覚障害】

ヘルスマッサージの職につなげるために、企業での臨床実習を始めた。

企業訪問 自己啓発活動的な取り組み

職場開拓員の活用

生徒からの希望に即した新たな進路開拓

企業事業所対象の学校説明会

福祉協議会との連携による現場実習

#### 【聴覚障害】

主な企業の採用担当者対象の学校見学会の実施

就労支援コーディネーターの講師による教職員対象の研修セミナーを実施

就労ネットワーク会議の開催

県の事業として就労促進専門員の活用事業を行っている

企業や福祉施設への保護者見学会の回数を増やしたり、幼稚部を含む他学部の保護者への早期進路説明会を実施した。

重複障害児の保護者の職場見学

職場実習先の希望調査（生徒・保護者）

先輩から後輩への体験発表会の定例化

企業ガイダンス、就職関連外部模試の充実

#### 【知的障害】

就労支援・キャリア教育強化事業受託

就労支援アドバイザーの活用

離職対応の教員の配置

タイムレコーダーの導入

職域開拓促進事業の県教委指定

就労支援員の配置

実習の機会を増やした。

校内体制の改善、就労支援マニュアルの作成

進路コーディネーターの配置

職場体験学習の改善

府教委の予算で職業教育のため水耕栽培プラントを導入

現場実習期間の見直し

生徒の企業先見学

就労コーディネーターの配置

就労促進専門員が配置された

デュアルシステムの導入

卒後支援の充実

資料等の活用方法の改善など

卒業生が、卒後も新しい経験を通して成長できるような職場（福祉就労を含む）を開拓する。（新規ではない）

実習回数の増加

中学部での校内実習に委託作業を導入

地域企業での作業学習、作業学習の新規内容実施、2年時の個別現場実習

県教委の事業であるチャレンジ雇用を活用、嘱託職員として特別支援学校に勤務、最長2年間の雇用、この間に実習を行い企業就労へ。  
ジョブコーチ、就職支援コーディネーターの導入  
現場実習の実施方法  
企業人を招いての講話  
近隣事業所等学校見学会  
社会自立支援員の配置  
企業招聘による学校見学会の回数を増やしたこと。  
高等部1年で職場見学会  
作業学習の時間の延長  
外部人材参画授業  
福祉サービス事業所説明会及び合同ガイダンス  
地域企業の協力を得ての、デュアルシステム  
進路学習グループ編成  
就労促進専門員の活用  
実習の時期、機会の見直し  
外部講師（大学教授）を招聘して全教員を対象に進路学習会を開催する  
アビリンピック参加、外部専門家による授業等の指導  
就職支援コーディネーターの配置  
県事業の導入  
職業学級の開設  
体験実習のシステム  
外部講師に来てもらい指導していただいた  
保護者研修会の実施  
文部科学省の事業実施  
集団現場実習、内定先長期実習  
職業教育の充実  
進路専任による新規企業開拓  
生徒の希望を否定しないことを出発点としたこと。  
生徒が何をしたいのか、何ができるのかについて、ていねいに確認したこと。新しい事業主や事業所との接点づくりに努めたこと。  
実習、作業学習等の改善  
職場開拓支援員  
文科省委託事業「キャリア教育・就労支援充実事

業」を受けて取り組んだ  
他県との関係機関との連携  
専門家の導入、保護者向け講演会の充実  
企業を対象とした学校見学会  
作業製品販売会実施、接遇学習等  
就労促進セミナーの実施  
企業参観日、保護者説明会の設定  
現場実習報告会（今年度から保護者も参加）  
教育委員会の支援事業  
障害者未雇用企業向け説明会（ハローワークと共催）  
進路相談会を早めて開催  
保護者対象の研修会

#### 【肢体不自由】

特例子会社の出前授業  
校内実習  
小学部高学年から見学や体験の実施  
昨年度より高等部2年生から現場実習を開始、今年度より高等部1年から企業見学を実施するようにした。  
夏季進路体験実習  
福祉サービス情報集の作成、発行  
児童生徒の居住地の福祉サービスの紹介  
実習期間の延長、実習先の増

#### 【病弱】

ジョブサポート教員の配置

#### 【知・肢併置】

県の取組として資格検定の導入  
キャリアサポートコーディネーターの配置  
定期的な現場実習  
中学部生の職場体験学習  
外部講師招聘の職員研修  
進路専任の増員  
1年生後期の産業現場等における実習



通所施設等連絡会。企業セミナー  
1年次の就業体験の工夫  
就労支援センターとの連絡会、保護者との学習会  
県の仕事サポーター  
就労促進専門員の配置  
県教委の研究指定を受けた  
就労支援ネットワーク会議の設置及び開催  
事業所参観日  
企業向け高等部作業学習見学会  
地域の企業クラブとの連携  
幅広い職種・業種の実習先の確保に努力している  
中学部において施設体験実習を新たに実施した。  
市の事業との連携  
高等部職員による職場開拓  
企業対象学校見学会の実施  
学校見学会、事業主懇談会の開催  
就労支援アドバイスをを行う外部専門員導入

#### 【肢・病併置】

職業ガイダンス（中小企業同友会）

普通自動車免許の取得

#### 【その他の併置】

メンテナンス認定委員会

作業学習の見直し、改善、職業コースの企業内作業学習の職種の幅を広げる。

電話、訪問による新規開拓

事業所見学会、保護者向け進路学習会、職員向け施設見学会

地域・企業参画型の授業の導入

研修、卒業生についての現況報告会の実施

移行情報の伝達方法の改善

研修会の開催

→進路に関しては、各学校で地域の施設やサービスを用いて就労支援に力を入れていることがわかる。

→就労促進のための施策も各学校で工夫を行い、ガイダンスを行ったり、顧問を配置したりと幅広い。